

生物多様性の保全を目指して TNFD Adopter に登録

～新たなグループ環境方針のもと取り組みを加速～

株式会社レゾナック・ホールディングス（社長：高橋秀仁、以下、当社）は、自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures：TNFD）が 2023 年 9 月に公表した開示提言に賛同し、2024 年 6 月に TNFD Adopter*¹ への登録を行うとともに、TNFD フォーラム*² へ参画しました。

TNFD は、国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）、国連開発計画（UNDP）、環境 NGO の Global Canopy および世界自然保護基金（WWF）が 2021 年 6 月に発足させた国際イニシアチブです。企業や金融機関が事業活動を通じて自然環境や生物多様性もたらすリスクや機会を適切に評価し、情報開示することを促す枠組みの構築を推進しています。自然資本*³ に損失を与える資金の流れを逆転させ、「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を実現し、生物多様性を回復へと向かわせることを目的としています。

当社は、2024 年 6 月に新たにグループ環境方針*⁴ を策定し、環境への取り組みと、それらの課題解決に向けた具体的な行動指針を示しました。当社の環境への取り組みは①「気候変動への対応」②「生物多様性の保全」

③「循環型社会の実現」④「環境リスクへの対応」の 4 つの柱に基づいています。特に②「生物多様性の保全」に関しては、TNFD の枠組みに従い情報開示を行うことを決定し、その取り組みを加速していきます。

当社は、今後も生物多様性を保全することが生態系の生み出す自然回復力にとって重要であるという認識のもと、取り組みを進めていきます。そして、TNFD 提言に沿った自然関連課題（依存、影響、リスク、機会）の特定、評価などの検討を進め、情報開示を行っていきます。

また、当社は生物多様性に貢献する製品として、バイオスティミュラント資材「KROPIKO」の販売を開始しています。情報開示にとどまらず、製品を通じて「生物多様性の保全」を推進していきます。

*1 TNFD 提言に沿った情報開示を行う意思を TNFD の Web サイトで登録した企業や組織

*2 TNFD の組織情報開示フレームワークの構築を支援するステークホルダー組織

*3 森林、土壌、水、大気、植物、動物、鉱物など、自然によって形成される資本

*4 [グループ環境方針](#)

<参考>

[統合報告書](#)

[世界初、機能の異なる数種類のオリゴ糖を処方したバイオスティミュラントを新発売 | News Releases | Resonac](#)
[バイオスティミュラント資材/BS 資材/液状肥料 クロピコ | 化学品 | RESONAC](#)

以上

【Resonac（レゾナック）グループについて】

レゾナックグループは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ化学会社です。2023年1月に昭和電工グループと昭和電工マテリアルズグループ（旧日立化成グループ）が統合し、新たなスタートを切りました。新社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistryの「C」を組み合わせで生まれました。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。2023年度の売上高は約1兆3千億円、うち海外売上高が53%を占め、世界22の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2024年2月時点)。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

TEL 03-6263-8002